

首都圏増田会だより

36

2021.6

2021年11月21日(日)
首都圏増田会
オーラムで会いましょう

満開の桜(館花地内 4月)

同郷の絆を感じて

一般財団法人 横手市増田まんが美術館 代表理事 見田 和光 (荻袋)

首都圏増田会は、「親睦と融和」「愛郷と連帯」を旗印に、昭和61年11月に結成されました。今日まで多岐にわたる有意義な諸活動を継続されておられます。会員・歴代役員の皆様に敬意を表すとともに、改めて「同郷の絆」の強さ、広さに感じ入っております。

私も旧増田町に在職当時16年間程、会運営にお手伝いする機会に恵まれました。この間、多くの会員の皆様との出会いがあり、有難いことに現在も緩やかながら、その交流が続いております。しかし、時の流れは無情なもので、お世話になった方々との辛い別れも幾度か経験しました。

昨年11月には、増田町（中村）出身の漫画家 矢口高雄先生が81歳で逝去されました。先生は30歳で勤めていた銀行を退職し、漫画家を志して単身上京してから51年目でした。奇しくも、横手市増田まんが美術館では先生の画業50年を称える「故郷（ふるさと）清明」と題した特別企画展を開催している最中の訃報でした。残念でなりません。

先生の作品は、代表作「釣りキチ三平」や「ふるさと」「やまびこ」「蛭雪時代」などにみられるように、常にふるさとの自然と、そこで暮らす人々の人間模様を生き活きと語り手として描き、全国のファンを魅了し続けています。また、激務である執筆活動が続けながら日本漫画家協会、マンガジャパンなどの役員を務めるなど、マンガ文化の発展にも大きく寄与されたことは、特筆すべきことだと思います。横手市増田まんが美術館の名誉館長として建設やその運営に携わるとともに、平成27年には先生の半生をかけて書き下ろした肉筆原画の全て約4万2千点を横手市に寄贈されました。現在のまんが美術館の原画収蔵数は全国でも有数の約42万点（漫画家183名）となっております。

まんが美術館では、収蔵する原画を活用して、常設展、特別企画展などを開催するとともに、内蔵で有名な「伝統的建造物群」の町並みと連携・協力しながら魅力と賑わいある町づくり、地域づくりに取り組んでおります。帰省の折などは是非ともお立ち寄りいただきたいと思います。

増田会の益々のご隆盛と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を切に祈っております。



当増田会の会員であり、横手市増田まんが美術館の名誉館長の漫画家 矢口高雄さんが、令和二年十一月二十日、病氣のため八十一歳で逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

春のうららの多摩川の河津桜

首都圏増田会会長 細野 芳之助 (小栗山)



春の香りと言えば菜の花は昔から春の訪れとともに食されてきました。料理の格言に「春の皿には苦みを盛れ」という、菜の花もふきのとうも苦さを、そしてそのなかの甘さを楽しみたいと思い、我が家の庭に出てきたふきのとうでふき味噌を作って春の訪れを感じることができました。

早咲きで知られる河津桜が今年も満開になり、新型コロナウイルスの感染拡大で、遠くに出かけることができないので、運動不足解消にと思い近くの方達が見学にきており、春を楽しんでおりました。

多摩川の河川敷のグラウンドでは少年野球の子供達が元気いっぱい練習に励んでおり、その子供達を見て私も少し元気をもらったような気になりました。

今回のコロナ禍で、今年の第35回の総会を中止にせざるを得ないことになり、早くコロナ禍が終息することを願うばかりです。

国内でのワクチン接種も始まっておりますので、コロナウイルス感染拡大が終息しましたら、第36回首都圏増田会の総会を開催して、会員の皆様と笑顔で美味しいお酒を飲みかわし、故郷のお話で賑やかな一時を過ごしたいと思っております。

役員一同力を合わせて、総会の開催に向けて一層の努力をいたしますとともに、増田会の発展に努めてまいりたいと思います。総会の開催時には皆さん元気な笑顔で、大勢の参加をお待ちしております。

今後とも会員の皆様の温かいご支援をお願いいたします。

皆さん お元気ですか？

首都圏増田会幹事長 越後 英雄 (本町)



今年2021年、ふるさと増田は大雪に悩まされました。さらにコロナ禍で首都圏との往来が制限され、身内でさえ会えない時期が続いています。首都圏増田会の活動も、2020年の春から総会や懇親会はもちろん役員会も全てストップしました。本当に歯がゆい思いが続いています。さらに2021年4月になり、コロナの第4波による緊急事態宣言も発出されました。

この調子では、2021年11月21日（日）に予定している総会・懇親会も従来どおりの開催はむずかしそうです。しかし、なんらかの形で、今まで会えなかった分を取り戻し、皆様と直接お会いできる会合にしたいと役員一同知恵を出し合っています。役員会もリモートであれば開催できると思います。

皆様も秋の再会を楽しみに、より一層の感染防止を心掛けましょう。会員の皆様との再会を心待ちにしております。

旧増田町立小中学校校歌

例年、増田町での出来事を紹介していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの行事が中止となってしまいました。そのため、特別企画として旧増田町立小中学校の校歌と校舎の写真を紹介いたします。

旧増田町立増田小学校校歌

作詞 田中 徹翁
作曲 小松 耕輔

一 由緑もゆかし ゆたけき土の
土肥の園生に 生いたたつ吾等
根ざしにこもる 若木の力
いやすくよかに 伸びゆく楽し
いざいざのびん いざ伸びん

二 真人の峯に 朝日を迎え
成瀬の水に 夕日をたゝえ
こころは清き 希望にもえて
いそしみ集う 学舎楽し
いざいざのびん いざ伸びん



旧増田小学校
(職員室前)

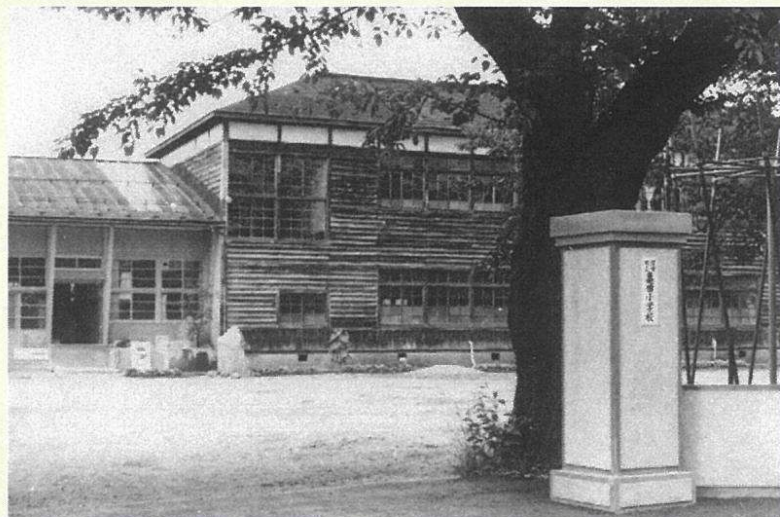
旧増田町立亀田小学校校歌

作詞 沼田 平治
作曲 露木 次男

一 真人の山の 松茂み
緑の風の ふくところ
御鷹の由緒 かぐわしき
我が学舎は ここに建つ

二 一覚三代 信明の
祖先のいさお 仰ぎつつ
稲荷の森の 神かけて
強き心を 養わん

三 黄金たり穂の 田園も
珠玉鈴なす 果樹園も
栄えいやます その姿
我らをまちて 笑顔あり



旧亀田小学校

旧増田町立西成瀬小学校校歌

作詞 竹内瑛二郎
作曲 大山会三郎

一 朝明けに 遠く そびえる
鳥海の 雄姿を 胸に
育てわれらの この丘に
かがやく歴史 うけついで
真人の山の 見守るところ
心すなおに たくましく
伸びゆく われら目に新た

二 きよらかに 流れ やすまず
進みゆく 成瀬の川に
誓われらの この丘よ
りんごの花も 咲きにおう
わがふるさとの 未来をにない
真実もとめ 励みあう
われらの母校 西成瀬



旧西成瀬小学校
湯野沢分校



旧西成瀬小学校

旧増田町立増田東小学校校歌

作詞 千田 達二
作曲 山中富之助

一 明けゆく空の輝きに
さえずりかわす小鳥たち
丘にのぼれば一面に
春らんの花福寿草
ああうるわしいこの里は
われらを素直に育てます
丘にそびえるまなびやは
その名もゆかし東小

二 山紫に水清く
いわなのおどるせせらぎに
遠い歴史の影うつし
希望ひろがる狙半内
ああ豊かなるこの里を
われらで永く育てよう
丘にそびえるまなびやは
その名もゆかし東小

旧増田町立小栗山小学校校歌

作詞 小栗山小学校職員
作曲 柿崎 珪司

一 みどりにはえる 山々や
流れも清き せせらぎに
呼び声高く こだます
わが学び舎よ 小栗山

二 かげろう燃える 山里は
心も豊かに 静まりて
われらを深く いくつしむ
あわが里よ 小栗山

三 窓辺に高く 大杉の
雄姿を望む 学び舎に
われらは強く 育ちいく
あわが母校 小栗山



旧小栗山小学校
(昭和30年頃)

旧増田町立上畑小中学校校歌

作詞・作曲 佐々木兵三

- 山路遥けく 辿りきて
狭間の岩に やすらえば
ふと清冽の 泉あり
ここ上畑の 学舎は
うれしい大地の 愛のにわ
- 秋空高く 澄みわたり
山は綾羅に いろどられ
栗の実おちる 音がそか
ここ上畑の 学舎は
たのしい学業の 稔にわ
- 高根の頂き 白にそみ
里は深雪に とざされて
文化のかおる 春を待つ
ここ上畑の 学舎は
世界の平和に 流れこむ



旧上畑小中学校
(昭和30年代)

旧増田町立増田中学校校歌

作詞 真崎日魯雄

- 一人の世の永久の平和を 希うなる
朝明け匂う 真人の山に その鎮もりに
たぎり立つ 成瀬皆瀬の荒波に
みそぎ鍛えん 我が身 わが魂 健き身と魂
- 黄金なす 稔り増田の 豊けさを
真理を胸に 育ち伸び行く 我ら伸び行く
高光る 鳥海の嶺の麗わしき
姿ぞやがて わが理想なる わが理想なる
- 出羽なる そのかみ遠き 昔より
文化ある処 土肥のわが里 うましわが里
目もさやに 根張り枝振り大空を
衝かん生命ぞ おお二本杉 わが二本杉

旧増田町立西成瀬中学校校歌

作詞 佐々木兵三
作曲 石田 一郎

- 山峡の里うるわしく 豊け恵み地にうけて
自立の栄えいやましに 伝統遠く幾千年
西中我等誇りもて 明るき郷土うち立てん
- 吉野の山の地下深く 無限の宝蔵すこと
くめども尽きぬ知の泉 日毎すくいて育ちゆく
西中我等力もて 輝く文化うち立てん
- 成瀬の川の水清く せんかん流れ海に入る
びようぼう尽きぬ世の幸を むつびて生まん相慕は
西中我等望みもて 栄元の平和うち立てん



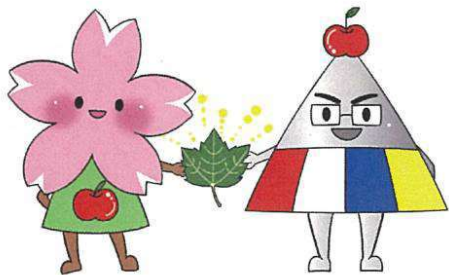
旧西成瀬中学校

横手市立増田小学校校歌

増小だいすき！

作詞 村田さち子
作曲 池辺晋一郎

- かがやく 銀の 三角屋根を
げんきな声が 翔けのぼる
かけっこ 勉強 みちくさ
そうして どんどん 友達ふえたね
ここがすき！ 増小だいすき！
- 青空 背にして 巨木が二本
大地をつかみ そそりたつ
風と 光をあつめて
ここに 緑の 森をつくろう
ここがすき！ 増小だいすき！
- 歴史を きざむ 城跡深く
未来のチャイム 鳴りひびく
夢の 翼を ひろげて
それぞれ はるかな 大空めざそう！
ここがすき！ 増小だいすき！



増小キャラクター
さくらにこちゃん トライアップルくん



現在の増田小学校

現在の増田小学校・中学校 校歌

横手市立増田中学校校歌

作詞 真崎日魯雄
作曲 深井 喜一

- 真人の山の朝明けに ほのかな桜花の香りあり
館花の里さわやかに 希望にもえる若人が
胸に和敬と誠実を ああかぐわしのわが母校
- 大空をゆく青雲を 成瀬の水に浮かべつつ
平鹿の里は松みどり 誇りにもえる若人が
胸に真理と磨光もつ ああ輝けるわが母校
- 紅玉の色あざやかに 穂波ゆれゆれ金色に
増田の里の稔る秋 理想にもえ若人が
文化の花を創造るなり ああうるわしのわが母校
- 白雪舞いて狙半内 栗駒山も吹雪く冬
荒野を行けばわが生命 魂はもえて若人の
赤き血潮もたぎるなり ああたくましきわが母校



現在の増田中学校



増中キャラクター まとっば

増田中学校は今年で
『創立50周年』
昭和46年(1971年)～

お願い ー連絡ー

事務局より

市町村合併後、市当局からの支援金は減額となりました。そのため、増田会だよりの発行について、次のようにさせていただきます。

過去5年間、会費が未納の方

総会の案内及び増田会だよりの郵送を中止させていただきました。ただし、総会への参加は1人でも多くの方々の参加を期待しています。

皆様のご理解の程をお願い申し上げます。

令和2年度首都圏増田会収支報告

令和2年10月1日現在

首都圏増田会の令和2年度の収支決算がまとまりました。その内容は下記のとおりです。

【収入の部】		※「比較」欄は予算との比較	
項 目	金額(円)	比 較	備 考
会 費	277,466	▲22,534	2,000円/年(手数料差引後)
総 会 会 費	564,000	▲76,000	68人
補 助 金	270,000	0	横手市より
繰 越 金	452,184	0	
預 金 利 子	3	1	
諸 収 入	373,000	73,000	総会祝儀(318,000円) 広告収入(55,000円)
収入合計	1,936,653	▲25,533	

【支出の部】			
項 目	金額(円)	比 較	備 考
総 会 費	1,086,079	▲63,921	会場費、宴会費用他
会 議 費	61,922	▲138,078	役員会 3回
渉 外 費	50,000	▲130,000	横手市ふるさと会連絡協議会 ほか
慶 弔 費	15,000	▲5,000	
広 告 費	0	▲70,000	増田の花火協賛金(50,000円) 役員名刺代5人(11,000円)
通 信 費	64,400	▲5,600	増田会だより送料ほか
事業部活動費	0	▲30,000	広報部
手 数 料	4,950	▲2,050	送金手数料
事 務 費	2,696	▲12,304	事務消耗品ほか 役員会案内切手、はがき代
総会準備費	0	▲150,000	
予 備 費	6,000	▲64,186	
支出合計	1,291,047	▲671,139	

収支差引残金 645,606円は翌年度へ繰越

令和2年10月1日 首都圏増田会 会長 細野 芳之助

第36回首都圏増田会総会

■期日 11月21日(日)午前11:30～
■場所 オーラム(一昨年と同じ場所です)
住所 東京都台東区東上野1-26-2
電話 03-5812-1123

会費 8,000円

会員の皆さまの安全を十分に確保して開催したいと考えておりますが、新型コロナウイルス感染状況により、中止になる場合もございます。

募集しています

写真募集 首都圏増田会広報部より

「増田会だより」の表紙に載せる写真を募集しています。増田会にふさわしく、増田に関する郷土の風景、行事、心に残る写真をお持ちの方がおりましたら、是非提供をお願いします。

■提出先：幹事長 越後 英雄

広告協賛募集 首都圏増田会総務部より

総会資料に掲載する広告を募集しています。1口(名刺版)3,000円となります。希望される方は、伝票の通信欄にその旨をご記入いただき、会費と一緒に納入してください。

会費の納入はお早めに

事務局より

当会の事業・運営は、会員の皆様の会費によって賄われていますが、ここ数年会費の納入が遅れたり、未納の会員の方がおります。健全会計維持のためにも、納入はお早めをお願いいたします。なお、未納の方には次回より案内状・便り等の送付はしないこととします。また、転居された方をご存じの方は、横手市まちづくり推進部増田地域課へお知らせください。

■連絡先：秋田県横手市増田町増田字土肥館
173番地／電話0182-45-5510

◆会 費 年額2,000円

◆納入期限 令和3年10月8日(金)

※払込伝票の通信欄は、会員紹介、増田会に対するご意見などを自由に記入してください。